

自己評価票

(個別表)

【事業者名称】 グループホーム サンドラー

年 月 日評価実施

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	☒ ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	心のふれあいを大切に支え合う独自の理念を作っている。		
2	2	☒ ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念、基本方針をユニットの出入り口に掲示し、共有し日々確認している。	○	外出レクリエーションを増やし利用者様と共有し活性を図り1人1人を観察し深めて行きたい
3		☒ ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族様と話し合いの場を持ちグループホームの流れを知って頂けるように取り組んでいます	○	家族の方と話せる機会を増やし更に増やしたい
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		☒ ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	夏祭りのイベントに近所の方をお誘いしたり、散歩で挨拶している	○	近所の方や、区長様等必ず声かけしている
5	3	☒ ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	県下一斉清掃に参加している。イベントのある時は必ず参加の呼びかけをしている。	○	行事のポスターを作成し外に向けて行きたい
6		☒ ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症の研修に参加して利用者様が穏やかに過ごせるように取り組む		
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I－3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	☒ ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員全員にコピーしそれぞれの立場で記入、集約したものを自己評価にのせている		
8	5	☒ ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では民生委員、家族代表、行政、区長、様等参加頂いて居ります。議事の内容については記録に残している。	○	内容については、家族様に報告していきたい。
9	6	☒ ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護相談員にも来所して相談に対応している。苦情の内容については、行政に相談して向上に努めている。		
10		☒ ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	マニュアル作成し、研修を行っている	○	全員目を通すようにしている
11		☒ ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新人教育で研修している現在虐待は無い常にマスメディア等を通じて情報に耳を傾けている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I－4. 理念を実践するための体制					
12		☒ ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理責任者が家族様に十分な説明を行ない署名、捺印を頂いている。		
13		☒ ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談員、苦情委員、を選出し常に気をつけて面会、電話等で対応している。		
14	7	☒ ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	介護職員に利用様の担当を決め懇切丁寧にあたり、3ヶ月に1度カンファレンスを実施し健康状態を把握している。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	☒ ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	グループホームの入り口に苦情、意見箱を設置し、様々な意見に対応出来るよう取り組んでいる。		
16		☒ ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングを行う事により職員の意見を聞く機会を設けて連絡、報告を徹底し連携を図るようにしている。	○	気付いた事は実施している
17		☒ ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	連絡網を作成し必要な時間帯を多く配置出来るように勤務調整し勤めている。		
18	9	☒ ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2階、3階と同じ方向でケアを実施、レクレーションも共に行ない不穏にならないように配慮している(普段から面識をもっている)		
理念を実践するための体制 7項目中 項目					
Iー5. 人材の育成と支援					
19	10	☒ ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の行事計画をたて研修内容にあった声かけを行ない実施し研修感想を提出する事に徹底し義務付けしている外部研修にも意欲的取り組んでいる	○	研修の参加により、記録に残し結果を提出している。
20	11	☒ ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ボランティア活動を取り入れ様々な形でご協力頂いております。デイサービスにも参加している		
21		☒ ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	疲れがでないようシフトで調整を図り希望に備えている。		
22		☒ ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修参加で意欲が出ています又担当を決めてケアを実施する事により責任感がでています。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		☒ ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	どんな小さな事でも耳を傾け受け入れ利用者様を安心して頂くように不安を取り除く努力をしている	○	個別で訴えが違うので出きる限り本人が納得できるように話して向かい合いたい
24		☒ ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の思いを受け入れご希望に添えるようにしている。	○	家族の協力や参加も話せるようにしたい。又家族会の発足も予定している。
25		☒ ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプラン作成はセンター方式を取り入れています。		
26	12	☒ ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	声かけ、を行ない家族様に充分聞き取り、無理なときは時間をおき様子観察し優しい気持ちから対応している	○	
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	☒ ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	出きる事、出来ないことを強制せず一緒に家事をし、又材料をきったり、盛り付けをしている	○	年配者で経験もあるので学ぶことが多いので活かして行きたい。
28		☒ ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られる時を大切にし、信頼関係が築けるように努力している日々の生活を報告している。		
29		☒ ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の関係を理解し双方の意見を聞きサポートしている		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		☒ ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	大切なものが失われないように自立に向 け手続き記憶が果たせるように、支援して いる。		
31		☒ ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	利用者との間に入りレクリエーション、外 出、の日々の中で共に支え合うように声 かけし支援している		
32		☒ ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所されるまでの相談援助や今後のあり 方をわかりやすく丁寧に説明し納得して 頂けるようにしている		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	☒ ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話を通して本人の思いや希望を大切に し担当職員の築きの記録を重視し対応し ている		
34		☒ ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービ ス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活かし共に過ごす事で理 解を深め共有出来るようにしている		
35		☒ ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的 に把握するように努めている	毎日の生活の中で記録と本人の状態を 希望も含め観察している。		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	☒ ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、 必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護 計画を作成している	状態が変わった時や介護保険の認定期 間がきれる時に必ずカンファレンスを開き 情報の収集をしケアプランの作成をして いる		
37	16	☒ ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応でき ない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に 即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリングで達成できたかどうか 確認し担当者を含め話し合い活かしてい る		
38		☒ ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情 報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	担当者を決め個人に着目し家族と連携を 図り経過記録に残している		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	☒ ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活 かした柔軟な支援をしている	安全な移動を終始徹底し事故のないよう に連絡、報告、を実施している。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		☒ ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	歌、大正琴、ボランティア、ハーモニカ、人形劇、等ボランティア様のご協力を得て利用者様の望んでいる事を見守りながら進めています。	○	消防訓練をビデオで説明を受けたり、訓練を実施しています。
41		☒ ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	福祉用具業者より、車椅子、入浴椅子、をまた 他の事業所より紙おむつを購入協力を得ています。		
42		☒ ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議では民生委員、行政、地域包括支援センターにも参加頂き情報交換しています		
43	18	☒ ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調管理は、常行っているがかかりつけ医院にも受診している当施設は医療法人であるので良好関係を保っています。		
44		☒ ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて専門医院に家族と相談し受診している。		
45		☒ ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療法人であるデイサービスの看護師に相談、支援を受けています。		
46		☒ ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関と連携を図り情報の共有相談をしスムーズにいくように努めています。		
47	19	☒ ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者様への健康管理を必須とし体調の悪い時は早い目に家族と連携し実施している。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		☒ ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	職員全員が連絡網を把握しミーティングを行ない対応しマニュアルを作成している。		
49		☒ ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人、家族に充分説明し話し合い、情報を交換している。		
地域資源との協働 10項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
		IV-1. その人らしい暮らしの支援			
		IV-1. (1) 一人ひとりの尊重			
50	20	☒ ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	個人情報事務所で保管している利用者様全員家族と思ひ接している。言葉使いも優しく笑顔が出るように接している。		
51		☒ ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自分でできることを気持ちよく手伝いがあり自立をめざして支援している		
52	21	☒ ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時にも個々に違いがあるのでその方のペースで実施している。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
		IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53		☒ ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月に1回訪問理、美容があり予約を取りお願いしている又他店に行きたい人はその都度対応している。		
54	22	☒ ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	平均年齢83歳と高齢でいらっしやるので、食べやすく個人に合わせて対応している		
55		☒ ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒は出していませんが、コーヒやカルピス、ジュース、等色々その日に望まれる嗜好にしている		
56		☒ ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	自分でトイレに行けるように見守り、声かけでケアを支援している介助の必要な方は時間をきめて声かけすると共に定期的に声かけもしている		
57	23	☒ ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴実施し、暑いときや体調で入れない方にはその都度声かけし実施している。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		☒ ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中覚醒をめざし、外出レクリエーションを重視し日々散歩は必須としている		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	☒ ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分で出きることに参加を呼びかけ、作品を仕上げ壁等に貼って楽しんでいきます。	○	1年に1度作品展を実施する予定
60		☒ ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭は事務所預かりとし、その都度必要な物にちては家族様と話し合いで支援している。		
61	25	☒ ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1週間の行事を職員にわかるように張り出している、又1ヶ月の計画も張り出し実施している。		
62		☒ ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	四季折々の自然を相手に必ず外出し月1回は交替で外出を実施しています。		
63		☒ ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話出きるように相談に応じています		
64		☒ ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や友人が訪れやすいように雰囲気大切にしている	○	お花や生け花で季節感を伝えている
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		☒ ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行ないません	○	マニュアルを作成し研修をしている

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	☒ ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	等施設はテンキーを押すといつでも出られわかりやすいように番号をはっています。		
67		☒ ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に職員が把握しており、緊急にも対応できるようにしている。		
68		☒ ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬を含め注意が必要な物品は保管場所を決めて管理している。		
69		☒ ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態に合わせて緊急網を作成して連絡も徹底している	○	マニュアルを作成し日々気をつけることをケアに活かせるようにしている
70		☒ ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急処置や車椅子でのケアの関わりかた等マニュアルを作成し実施している。		
71	27	☒ ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消防署と連携をとり指導頂いています。夜間の訓練は現在検討中です。	○	年間プランも作成し実施している。
72		☒ ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	転倒リスクのある方が殆どです。車椅子での過ごし方も見守りと声かけで実施している		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		☒ ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックで体調管理をし、早期発見予防に努めています	○	マニュアルで研修しています

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		☒ ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬のファイルがあり医師の指示に基き実施している。体調の変化がある時は指示を仰ぎ連携している。		
75		☒ ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	栄養士の指導も含め、水分の補給、日中の適当な運動を実施しながら排便、排尿の周期を把握し下剤の服用を医師の指示で実施している。		
76		☒ ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後居室に戻り口腔の実施を支援している		
77	28	☒ ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は記録に残している。体調の悪い時はその都度対応し実施しています	○	栄養面では提供メニューで評価を受け美味しいものが提供できるように努力している
78		☒ ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	食事前、外出、等常にうがい手洗いの実施予防の徹底をしている	○	感染マニュアルを作成研修実施
79		☒ ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	夕食後毎日消毒し食材については、常に新鮮であること、旬の物を提供している必要な量のみ購入している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
		IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
		IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり			
80		☒ ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関はガラス張りでみとうしがよく観葉植物や生花がありほのぼのとした看板も設置しわかりやすくしている。		
81	29	☒ ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が集まりやすいように生花、壁には手作りの貼り絵も作成している。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		☒ ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の居間ではテレビを見て過ごして頂ける座り易いソファを設置している。	○	利用者相互で部屋に行ったり共用スペースにも自分の場所を見つけ自由に過ごせるようにしている。
83	30	☒ ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで関わってきた使い慣れたものを居室に置いて安心して頂けるように声かけを実施している。	○	使い慣れた家具の持ち込みも家族と話し合い協議している。
84		☒ ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節は常に行ないこまめに窓を開け利用者様にあわせている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		☒ ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺、明るさに気をつけて転倒予防に心がけ生活し易いように工夫している。		
86		☒ ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、風呂、洗濯場はわかり易いように目印を付け判断出来ない利用者様には声かけやドアの前などで誘導している。		
87		☒ ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダは、園芸を楽しめるように野菜も植え収穫を楽しんでいます。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

長年生きて来られた強い思いを受け止め出きる事を支援し手続き記憶で出きる台所でのことは沢山あり会話しながら実施しております。利用される利用者様が心豊かに活き活きと生活でき1人1人を尊重し家族と共に支えあい共に支援しています。又四季折々のイベントも沢山の参加で行っています。声かけで笑顔がでるようにし、ボランティアの皆様もご協力いただけて感謝いたしております。これからも職員の研修を積んで行きたいとおもいます。

評価結果整理表

個 別 表		□のチェック項目数
I 理念に基づく運営		
－1.	☒ 理念と共有	3 項目/3項目
－2.	☒ 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3.	☒ 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4.	☒ 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5.	☒ 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
－1.	☒ 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2.	☒ 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
－1.	☒ 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2.	☒ 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3.	☒ 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4.	☒ 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
IV－1. その人らしい暮らしの支援		
－1. (1)	☒ 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2)	☒ その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3)	☒ その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4)	☒ 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5)	☒ その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
－2. (1)	☒ 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2)	☒ 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総 合 評 価

I 理念に基づく運営（☒ 項目／5項目）について

心のふれあいを大切に、四季折々のイベントを実施し外出レクレーションを重視し、利用様にストレスがたまらないよう気をつけ、1人1人の思いを尊重し自立に向け出きる事が増えるよう声かけを行い支援している生活の中で無理は無い様に支援している。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援（☒ 項目／2項目）について

どんな小さな事でも耳を傾け受容し不安を取り除き向かい合い寄り添うように支援し信頼関係を深められるように取り組んでいます。ケアプランはセンター方式をとりいれ担当者を決め時間を掛けて作成しています。無理はしないように声かけをしその都度確かめている。出きる限り自由にしている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント（☒ 項目／4項目）について

センター方式で家族とも話し合い共に作成しプランが活かせるようにしている。安全な移動は必須ではあるが一瞬で起こりうる事に対しては職員に日頃から連絡、報告を徹底させている。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援（☒ 項目／7項目）について

プライバシーの確保は徹底し、1人1人のペースの確保にも気を付けている。高齢で居られますので刻みで提供する事もある。食事の嗜好も違いがあり常に声かけを行ない写真等で伺いとりいれて実施しています。又毎回排泄、排便に対しても自分でできるよう支援し分からない時は誘導し、出きるように声かけしている。出来ないときは定期的に誘導している。環境整備は勿論ですが清潔に生活出きるように支援しています。

V サービスの成果に関する項目について

無理をせずに、利用者様が穏やかに、安心して頂けるように日々取り組んでおります。益々研修を積み資質、向上に向け沢山の人たちの支援が無駄にならないようにしていきます。色々なイベントについてもより多くのかたに呼びかけてまいります。少なからず利用者様、家族のかたに暖かいお言葉を頂戴しております。今後も継続してまいります。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

翔英会 医療法人
事業者名称 グループホームサンドラー

評価年月日： 年 月 日

前回評価年月日： 2009 年 4 月 2

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
I	3	理念の共有	H22年4月～ 23年3月まで	プライバシーの確保、尊厳、		
	2	地域との支えあい	H22年4月～ 23年3月まで	運営推進委員会の呼びかけ		
	5	理念の実施理解と活用	H22年4月～ 23年3月まで	意義、を理解する。		
	4	理念を実施する為の活用	H22年4月～ 23年3月まで	家族との連携		
	1	人材の育成	H22年4月～ 23年3月まで	O,Rの実施、研修		
II	1	相談から利用に至るまでの関係作りとその対応	H22年4月～ 23年3月まで	苦情、相談		
	2	ボランティアの関係の維持	H22年4月～ 23年3月まで	維持		
III	1	1人1人の把握	H22年4月～ 23年3月まで	どんな小さな事も受容する		
	2	ケアプランの徹底	H22年4月～ 23年3月まで	センター方式で作り上げたプランのじっし		
	3	多彩な柔軟な支援	H22年4月～ 23年3月まで	カンファレンス、モニタリングの徹底		
	4	よりよく暮らし続ける為の地域資源との共同支援	H22年4月～ 23年3月まで	運営推進委員会の呼びかけ		
iv	1	生活環境作り	H22年4月～ 23年3月まで	家族会の展開		
	2	その人らしい暮らしの支援	H22年4月～ 23年3月まで	出ることの支援		